

滋賀県の 労働災害の現状

(令和6年4月)



滋賀労働局・労働基準監督署（大津・彦根・東近江）

【もくじ】

令和5年のトピックス

死亡災害の件数は前年から1人減
- 2 -

「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」による
死亡災害が最も多い

40代の死亡災害が半数

従来型の死傷災害件数は増加傾向が続く
- 3 -

第三次産業の死傷災害件数が最も多い

全産業では転倒による死傷災害が最も多い
- 4 -

高年齢になるに従って死傷者数が増加
- 6 -

高年齢労働者を中心に転倒災害が増加

本統計では、新型コロナウイルス感染症関係を除きます。

死傷災害の概要（令和5年・新型コロナウイルス感染症関係を含む）
- 7 -

死亡災害の概要（令和5年）
- 8 -

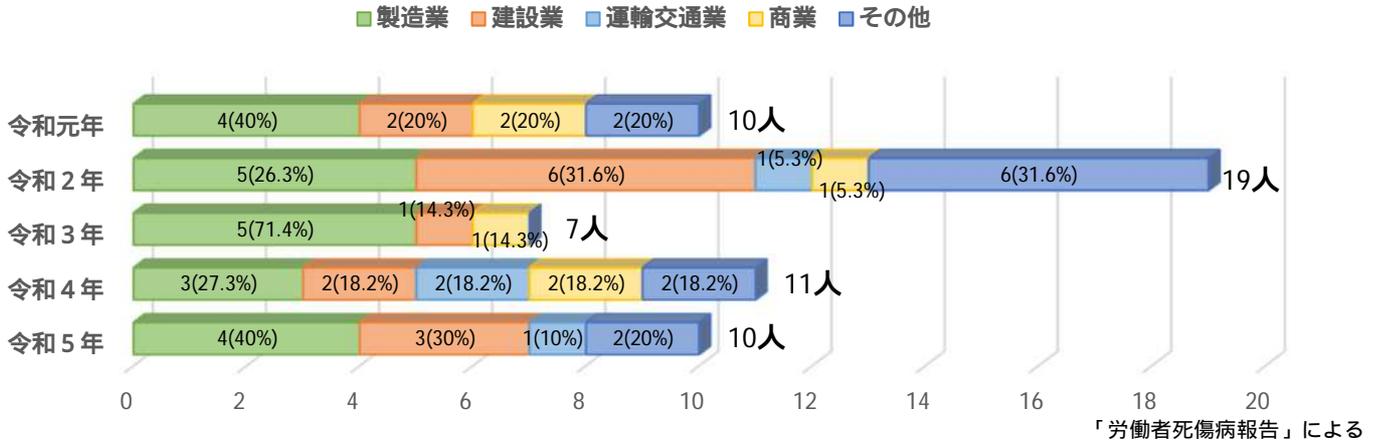
年別・業種別労働災害発生状況（過去10年間）
- 9 -

死亡災害・労働災害発生状況の推移（昭和26年以降）
- 10 -

1 死亡災害は前年から1人減

令和5年の労働災害による死亡者数は10人と、令和4年から1人減少した。

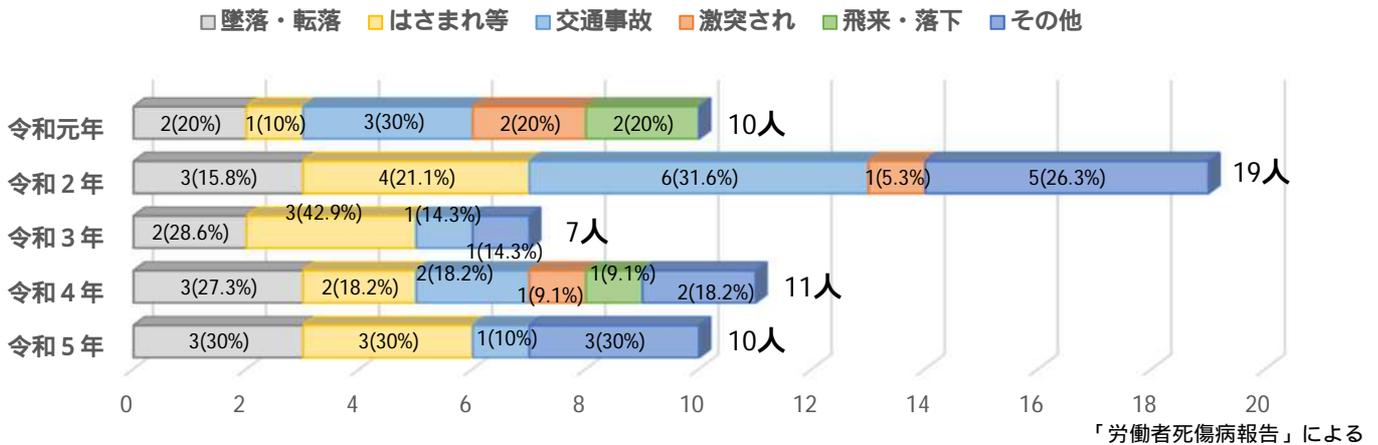
業種別死亡災害発生状況



2 「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」による死亡災害が最も多い

令和5年の死亡災害10人の事故の型は、「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」が3人、「交通事故」「転倒」「感電」及び「有害物等との接触」が1人だった。

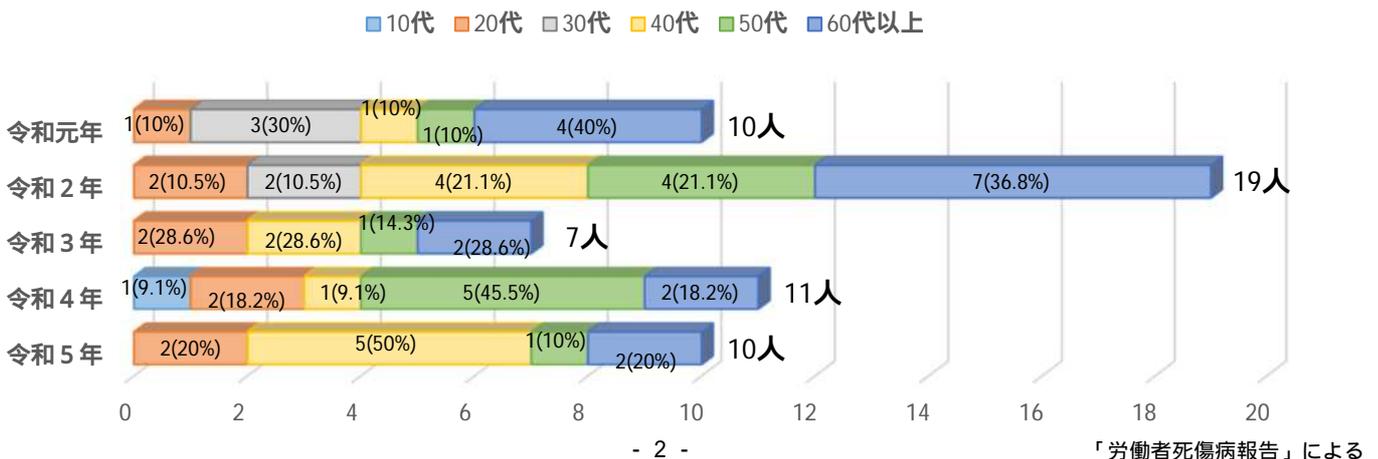
事故の型別死亡災害発生状況



3 40代の死亡災害が半数

令和5年の死亡災害の被災者を年齢別に見ると、40代が最も多く全体の半数に当たる5人であった。

年齢別死亡災害発生状況

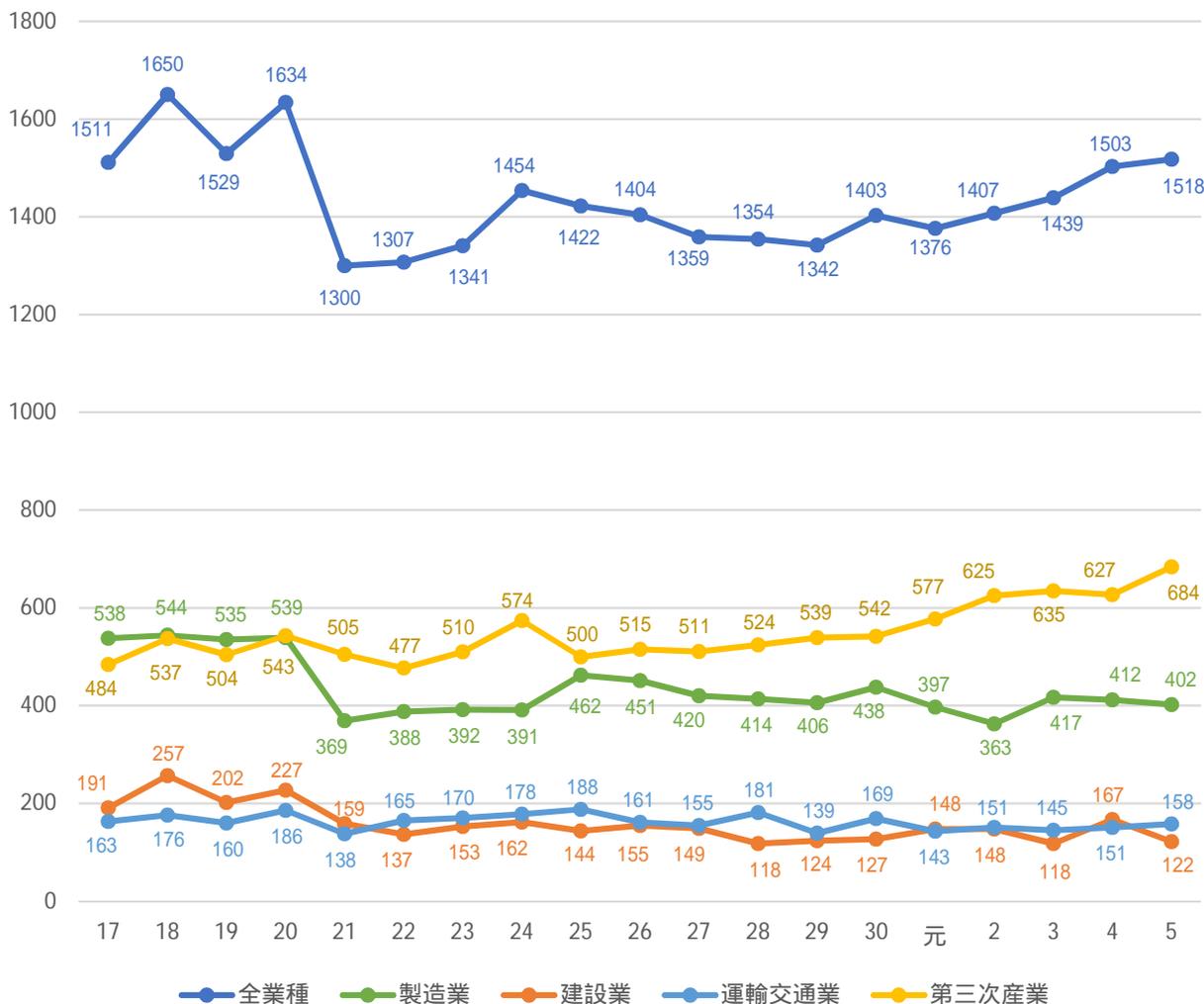


4 従来型の死傷災害件数は増加傾向が続く

滋賀県内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、従来型の労働災害に限ると4年連続で増加傾向となっている（新型コロナウイルス感染症関係の件数を含めた死傷災害件数は7ページのとおりであるが、令和5年は大幅な減少となっている。）。

業種ごとの内訳では、製造業が402人（前年比-2.4%）、建設業が122人（前年比-27.0%）、運輸交通業が158人（前年比+4.6%）、第三次産業684人（前年比+9.1%）となっている。

休業4日以上死傷者数の推移

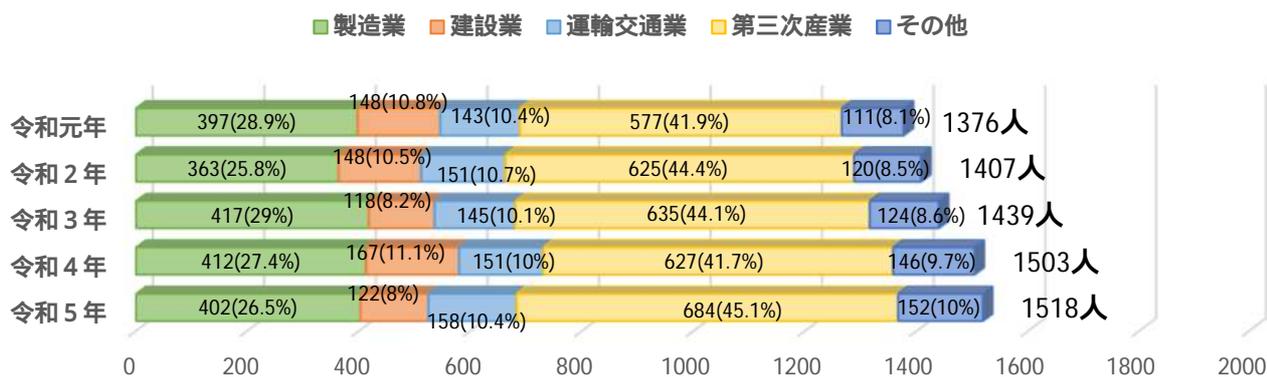


「労働者死傷病報告」による

5 第三次産業の死傷災害件数が最も多い

休業4日以上死傷者数は、第三次産業の占める割合が45.1%と最も高く、次いで製造業（26.5%）、運輸交通業（10.4%）、建設業（8.0%）の順になっている。

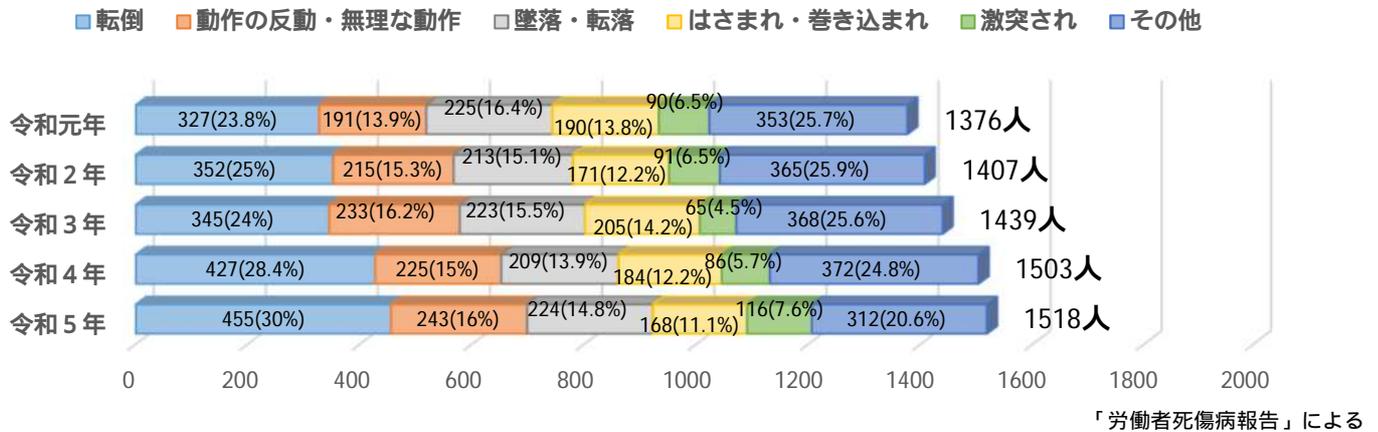
業種別死傷災害発生状況



6 全産業では転倒による死傷災害が最も多い

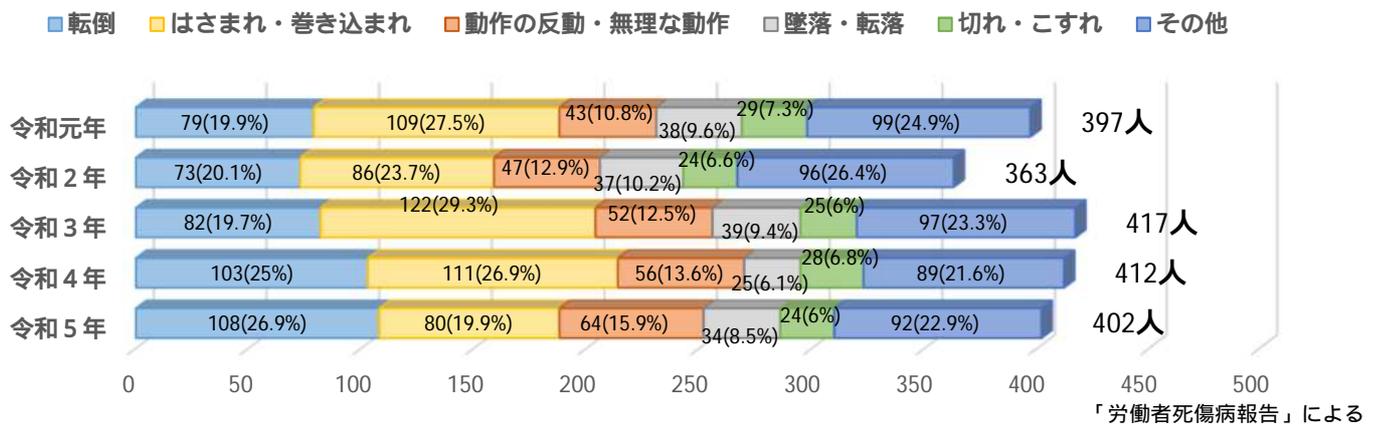
令和5年の死傷災害を事故の型別で見ると、全産業では「転倒」災害が最も多く、これ以外では「動作の反動・無理な動作」、「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」、「激突され」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【全産業】



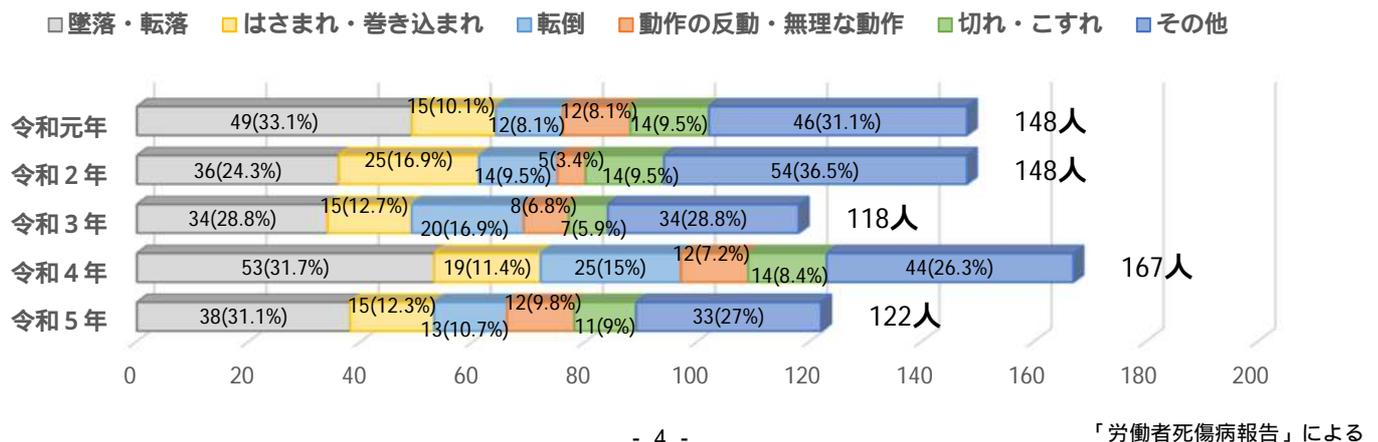
製造業では、「はさまれ・巻き込まれ」と入れ替わる形で「転倒」災害が最多となった。これ以外では、「動作の反動・無理な動作」、「墜落・転落」、「切れ・こすれ」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【製造業】



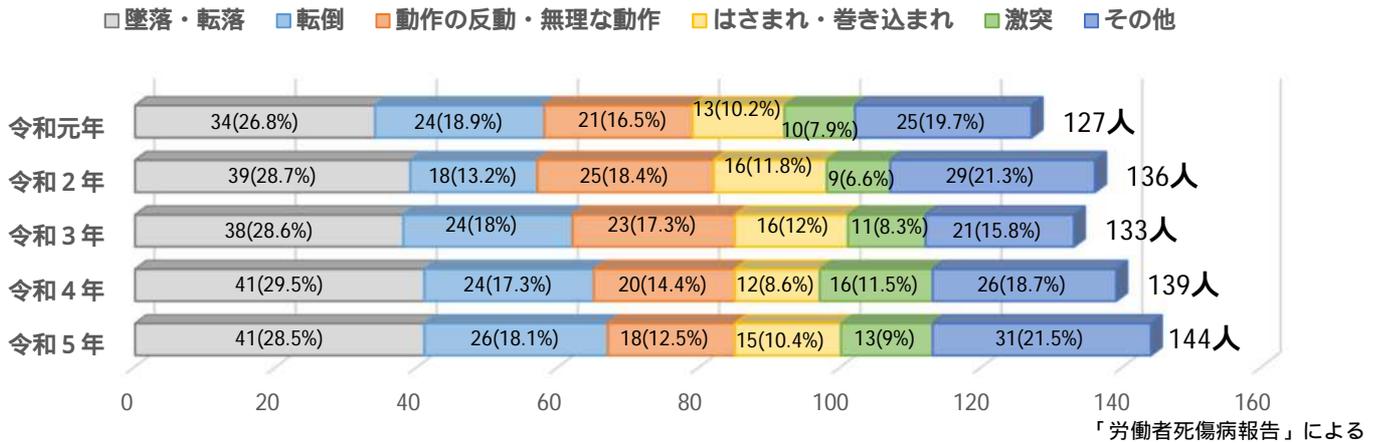
建設業では、「墜落・転落」が最も多く、これ以外では、「はさまれ・巻き込まれ」、「転倒」、「動作の反動・無理な動作」、「切れ・こすれ」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【建設業】



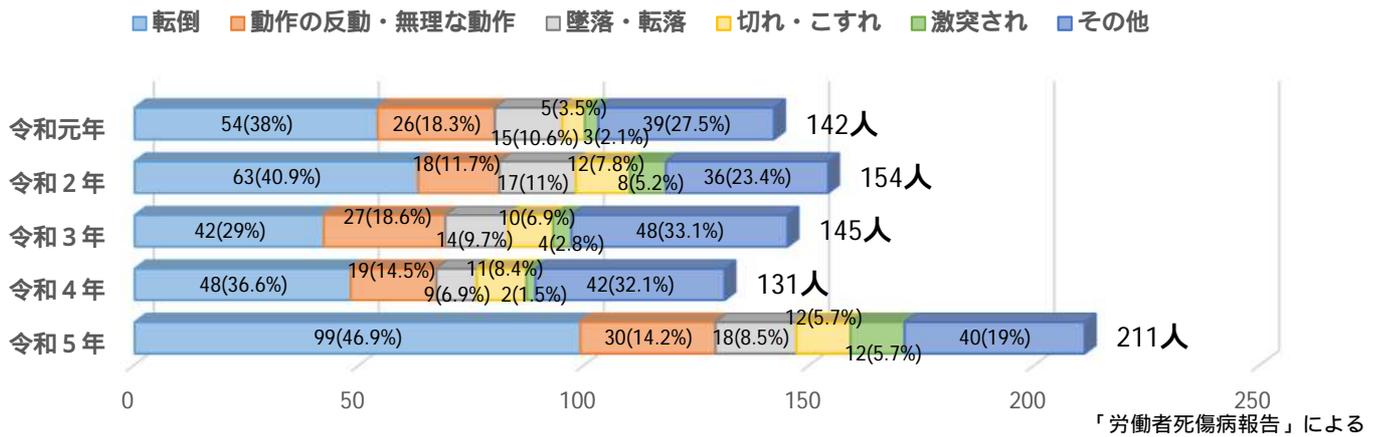
道路貨物運送業では、「墜落・転落」が最も多く、これ以外では「転倒」、「動作の反動・無理な動作」、「はさまれ・巻き込まれ」、「激突」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【道路貨物運送業】



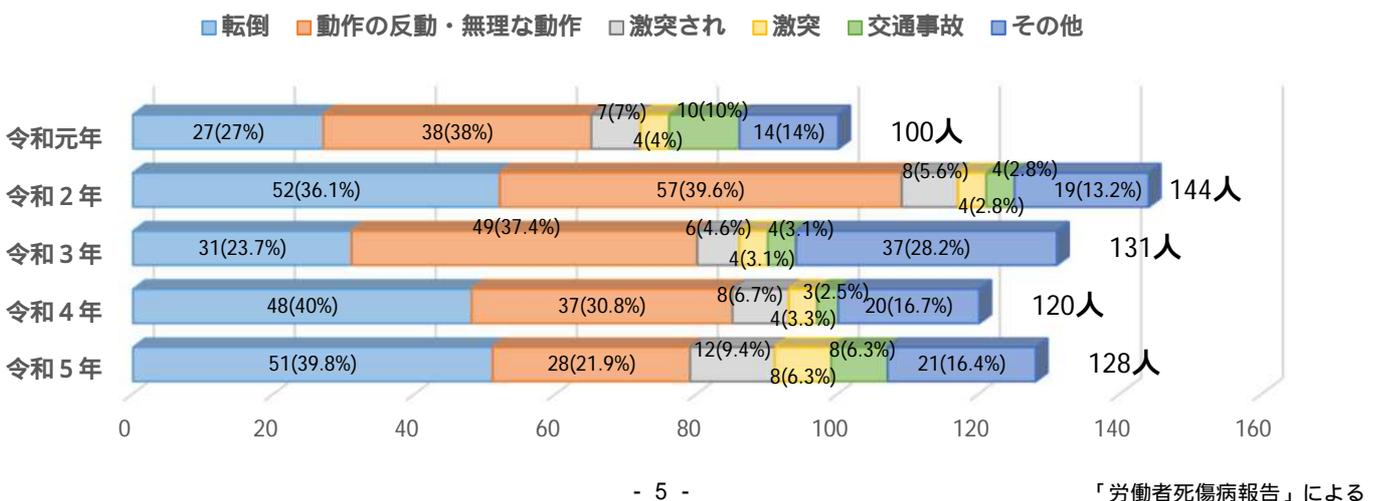
小売業では、「転倒」が最も多く、これ以外では「動作の反動・無理な動作」、「墜落・転落」、「切れ・こすれ」、「激突され」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【小売業】



社会福祉施設では、「転倒」が最も多く、これ以外では「動作の反動・無理な動作」、「激突され」、「激突」、「交通事故」の順となっている。

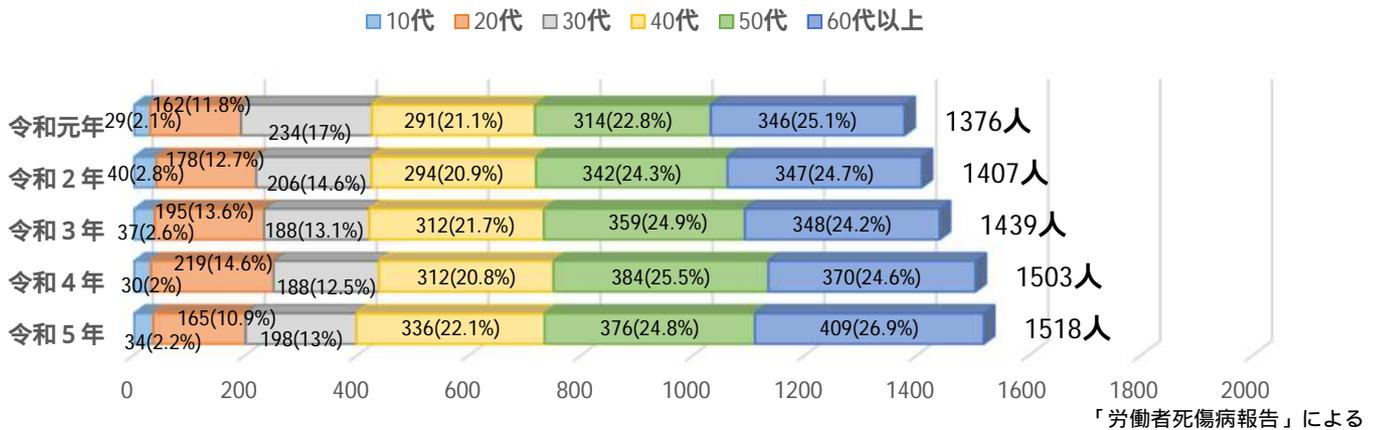
事故の型別死傷災害発生状況【社会福祉施設】



7 高年齢になるに従って死傷者数が増加

令和5年の死傷災害を年代別で見ると、年代が高いほど死傷者数が多く、特に40代から急激に死傷者数が増加していることがうかがえる。

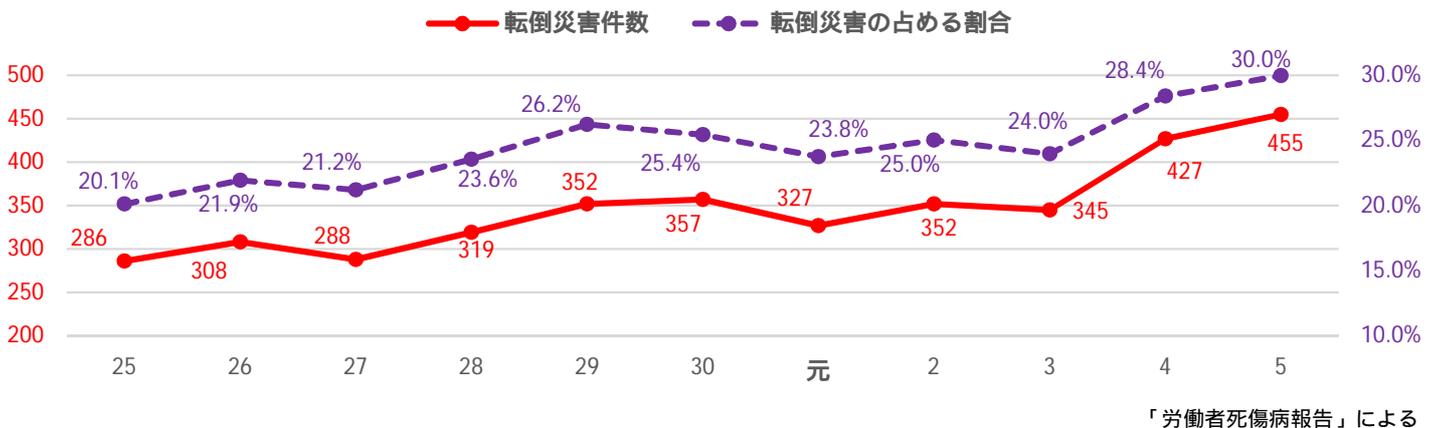
年代別死傷災害発生状況



8 高年齢労働者を中心に転倒災害が増加

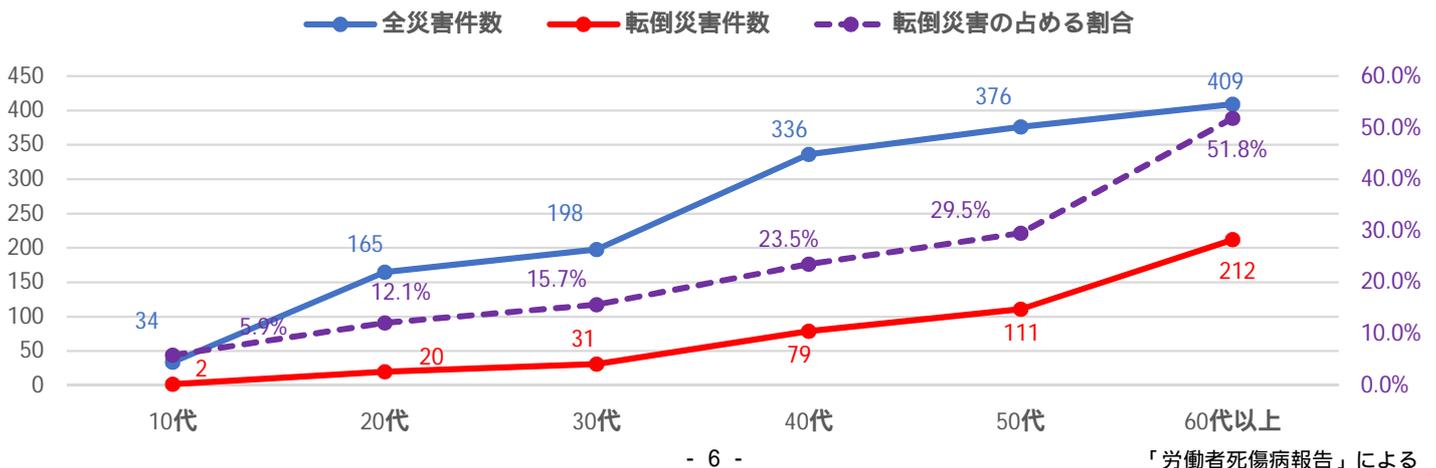
転倒災害は年々増加する傾向にあり、令和5年は455件であった。また全死傷災害に占める割合も上昇傾向が続いており、令和5年は全死傷災害の30%を占めた。

転倒災害の件数と全体に占める割合



年代別では、年代が上がるほど件数及び全死傷災害に占める割合が高くなる傾向となり、60代以上では約半数(51.8%)に当たる212件の転倒災害が発生している。

年代別災害件数と転倒災害の割合

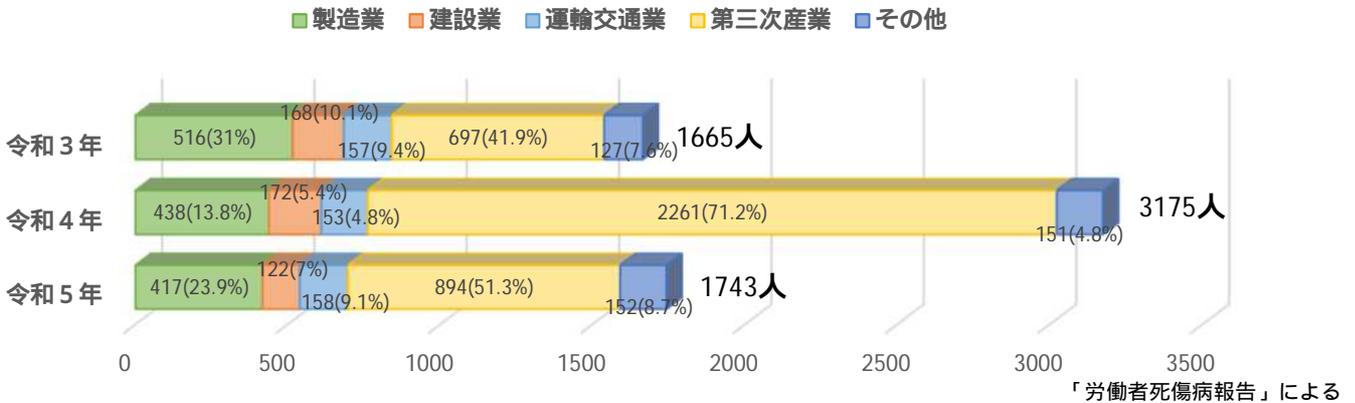


死傷災害の概要（新型コロナウイルス感染症関係を含む）

まず、新型コロナウイルス感染症関係が最も流行した令和4年の休業4日以上死傷者数は、例年より非常に多くなっている。

特に第三次産業の占める割合が最も高いが、同感染症が最も流行した令和4年の割合（71.2%）に比べると、令和5年は低下（41.9%）している。次いで製造業（31.0%）、建設業（10.1%）、運輸交通業（9.4%）の順になっている。

業種別死傷災害発生状況

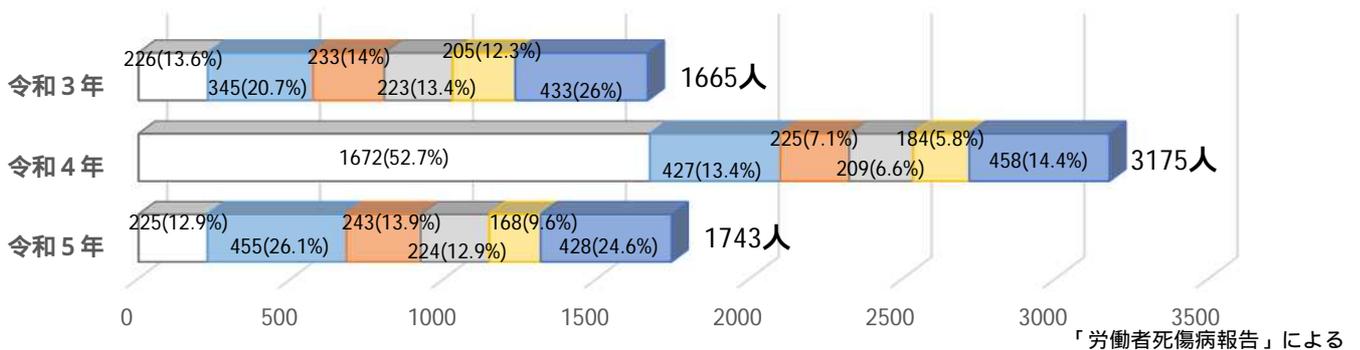


令和4年は死傷災害の半数以上が新型コロナウイルス感染症関係の災害であった。令和5年は12.9%まで割合が低下しており、従来型の労働災害の割合が相対的に増加している。

令和5年は、「転倒」、「動作の反動・無理な動作」、「新型コロナウイルス感染症関係」、「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【全産業】

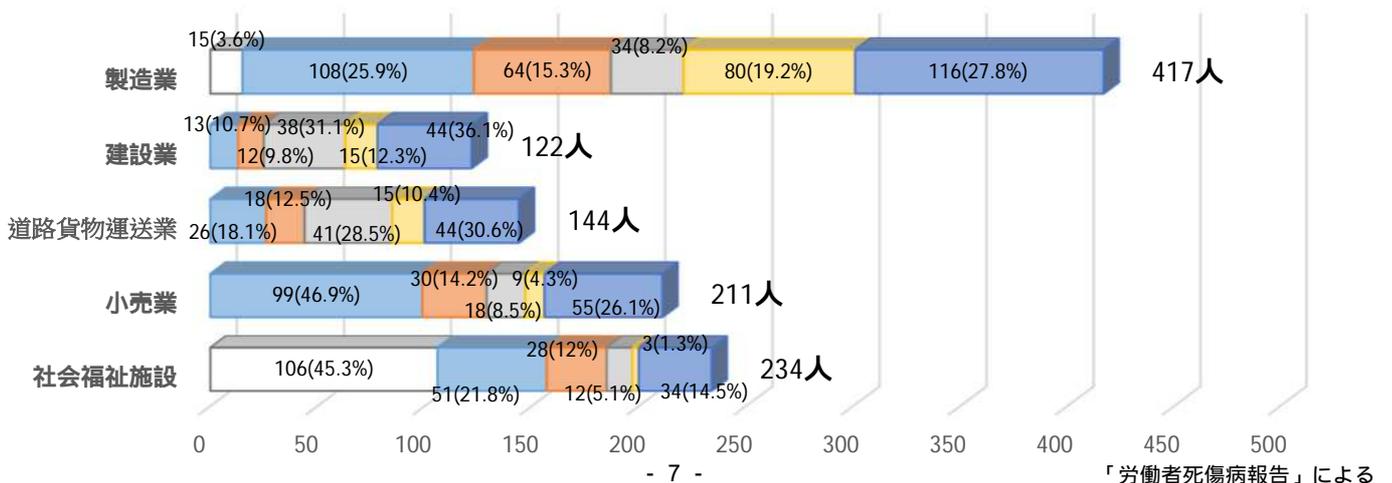
□新型コロナウイルス感染症 ■ 転倒 ■ 動作の反動・無理な動作 ■ 墜落・転落 ■ はさまれ・巻き込まれ ■ その他



業種別では、製造業及び小売業では「転倒」災害が、建設業及び道路貨物運送業では「墜落・転落」災害が、社会福祉施設では「新型コロナウイルス感染症関係」が、それぞれ最も多い。

事故の型別死傷災害発生状況【令和5年】

□新型コロナウイルス感染症 ■ 転倒 ■ 動作の反動・無理な動作 ■ 墜落・転落 ■ はさまれ・巻き込まれ ■ その他



死亡災害の概要（令和5年）

番号	業種 (規模)	発生月 時間帯	事故の型	被災者の職 種 年代	発生概要
1	その他の金属製品製造業 (77名)	1月 6時頃	転倒	作業員 40代	事業場敷地内に通勤車両を駐車し、事務所に徒歩で向かう途中、前日からの降雪で凍結した路面上で転倒した。その後、起き上がり、作業前には同僚と会話も交わしていたが、作業場所で倒れた状態で発見され、その後外傷性くも膜下出血により死亡が確認された。
2	一般貨物自動車運送業 (30名)	3月 4時頃	交通事故 (道路)	運転者 40代	運送のため4トトラックに乗車し一般道を走行中、交差点で誤って反対車線に進入してしまったことから、車両をUターンさせて車線変更をしようとしたところ、後方から直進してきたトレーラーと接触、車両4台が絡む交通事故となったもの。
3	産業廃棄物処理業 (21名)	3月 14時頃	はさまれ 巻き込まれ	作業 技能者 50代	焼却施設の月一回の定期メンテナンスの実施に当たり、再燃焼室における焼却灰を搬送するコンベヤー上方に設置された点検口の一次蓋(二重蓋構造)の取り外しに単独で向かった被災者が、二次蓋まで開放し、上半身を点検口に差し入れた姿勢でコンベヤーに巻き込まれた状態で発見され、死亡が確認されたもの。
4	非鉄金属鋳物業 (14名)	3月 8時頃	はさまれ 巻き込まれ	作業 者 20代	鋳型製造機の型を交換した後、型が適正に設置されているかを確認するため、同機械の下型を上昇させた状態で、機械の前面から下型の底部をのぞき込んでいたところ、自重で下降してきた下型の底部と機械の隙間に頭頸部等をはさまれたもの。
5	電気通信工事業 (32名)	8月 3時頃	感電	電工 20代	鉄道の線路上に設置された電線を支持するビームの点検を行うため、移動はしごを上げていた際に、加圧中の電線に触れ、感電したもの。
6	その他の繊維工業 (40名)	9月 11時頃	はさまれ 巻き込まれ	作業 技能者 60代	ロール機を用いて製品と製品を繋ぐ導布を製造する作業中、被災者が乾燥設備上部のロール部と導布との間に巻き込まれた状態で発見され、その後搬送先の病院で死亡が確認されたもの。
7	その他の化学工業 (19名)	10月 8時頃	有害物等 との接触	作業 技能者 40代	タンク内部を洗浄する作業の準備をしていた被災者が、装着した送気マスクに繋がるホースを誤って窒素が供給される配管に接続し、バルブを開いたことにより、窒素(酸素欠乏空気)を吸い込んだもの。
8	その他の建築工事業 (2名)	11月 9時頃	墜落・転落	塗装工 40代	2階建て住宅の屋根塗装工事のため、屋根上で作業を行っていた被災者が、足を滑らせて一側足場のメッシュシートを突き破り、屋根端部から6メートル下方のコンクリート地面に墜落したもの。
9	ビルメンテナンス業 (147名)	11月 14時頃	墜落・転落	清掃員 70代	施設内の階段を掃除機で清掃する業務に従事していた労働者が、階段から転落し、後頭部を強く打ったもの。
10	電気通信工事業 (19名)	12月 9時頃	墜落・転落	作業 者 40代	高さ35メートルの鉄塔の電線を張り替える作業現場において、鉄塔上での作業を終え昇降設備を使用して地上に降りる最中に、高さ約22メートルから地上へ墜落したもの。

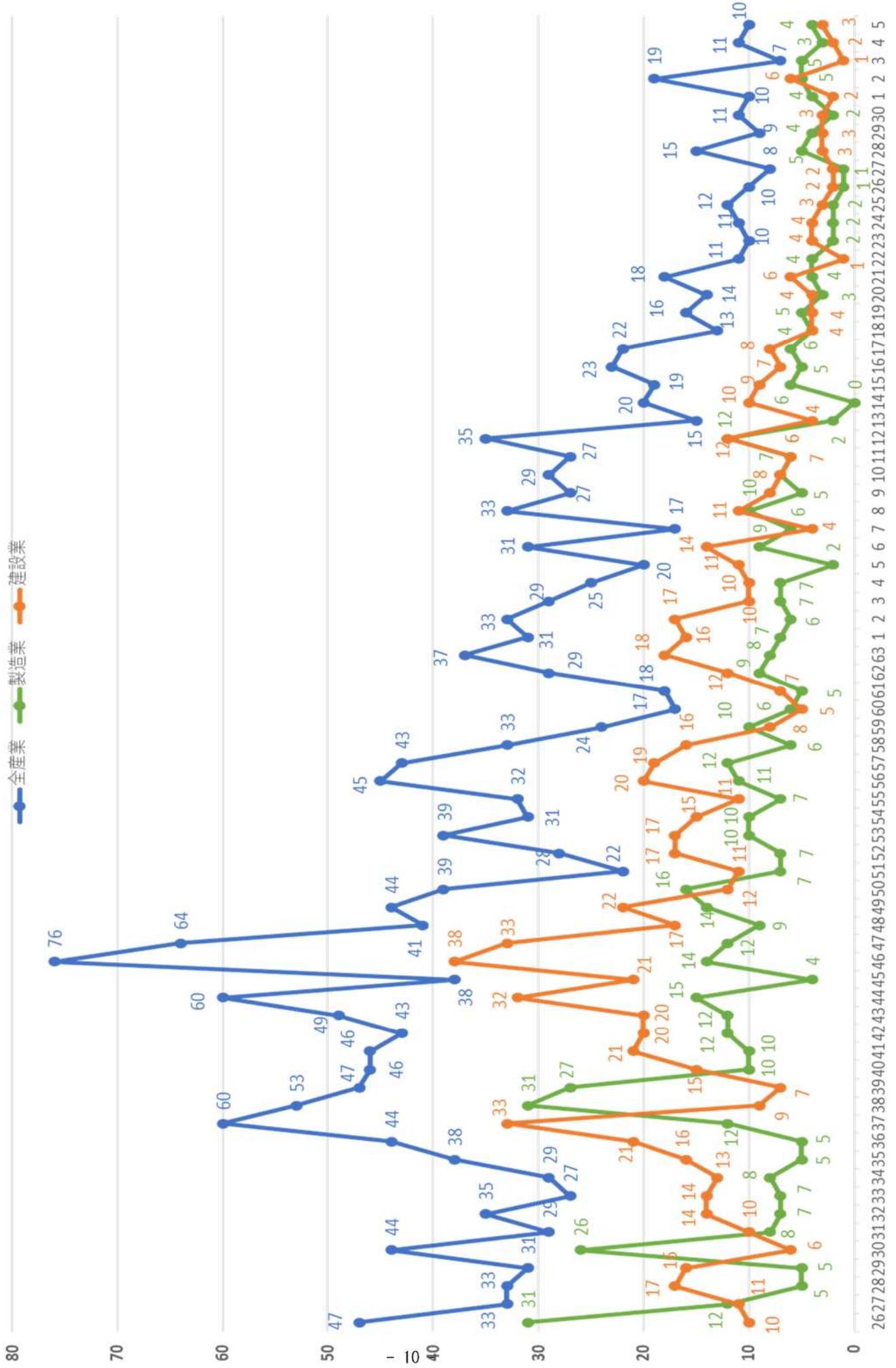
年別・業種別労働災害発生状況(過去10年)

業種	年別		26	27	28	29	30	元	2		3		4		5	
									コロナ含		コロナ含		コロナ含		コロナ含	
製 造 業	食料品製造業		75	77	(1) 87	(1) 76	75	67	67	67	72	72	82	82	68	68
	繊維工業		15	15	7	17	22	17	(1) 10	10	16	25	12	19	(1) 19	19
	衣服・その他の繊維製品製造業		8	7	5	2	2	3	5	5	2	2	5	6	5	6
	木材・木製品製造業		16	13	9	7	(1) 15	(1) 19	(1) 13	13	19	19	13	13	10	10
	家具・装備品製造業		7	6	5	2	1	3	3	3	6	6	5	6	5	5
	パルプ・紙・紙加工品製造業		17	11	10	9	11	12	14	14	15	15	(1) 19	19	8	8
	印刷・製本業		7	(1) 14	10	9	17	3	10	11	(1) 6	6	6	6	6	16
	化学工業		64	41	57	(1) 68	55	(1) 66	56	56	(1) 51	51	(2) 49	53	(1) 63	63
	窯業土石製品製造業		33	36	(1) 27	(1) 35	26	37	(1) 26	26	(1) 22	22	22	22	25	25
	鉄鋼業		7	9	13	10	4	8	3	3	8	8	1	1	6	6
	非鉄金属製造業		7	5	10	6	9	7	3	3	4	6	7	7	(1) 4	4
	金属製品製造業		77	58	(1) 60	(1) 72	64	(1) 60	(1) 41	41	58	66	55	60	(1) 60	60
	一般機械器具製造業		30	38	38	31	(1) 45	(1) 29	(1) 35	37	(1) 44	84	46	46	34	36
	電気機械器具製造業		39	30	(1) 41	28	38	30	25	25	34	40	42	44	35	36
	輸送用機械器具製造業		21	29	(1) 21	20	23	18	23	23	26	60	28	34	26	27
	電気・ガス・水道業				1			2	1	1	2	2	1	1		
その他製造業		(1) 28	31	13	14	31	16	28	28	(1) 32	32	19	19	28	28	
[製造業計]		(1) 451	(1) 420	(5) 414	(4) 406	(2) 438	(4) 397	(5) 363	366	(5) 417	516	(3) 412	438	(4) 402	417	
鉱業			2	3	1	1	1	2	2	1	1	2	2	3	3	
建 設 業	土木工事業		(1) 31	30	23	21	(1) 25	(1) 29	(1) 28	28	(1) 35	42	(1) 38	38	32	32
	建築工事業		(1) 94	(2) 87	(3) 62	(1) 65	58	66	(4) 88	88	55	68	(1) 82	84	(1) 57	57
	(内 木造家屋建築工事業)		(1) 37	(1) 25	29	18	20	20	(1) 20	20	14	20	27	27	15	15
	その他の建設業		30	32	33	(2) 38	(2) 44	(1) 53	(1) 32	32	28	58	47	50	(2) 33	33
	[建設業計]		(2) 155	(2) 149	(3) 118	(3) 124	(3) 127	(2) 148	(6) 148	148	(1) 118	168	(2) 167	172	(3) 122	122
運 輸 交 通 業	道路旅客運送業・その他		14	16	19	14	(1) 14	16	15	16	12	19	12	14	14	14
	道路貨物運送業		(1) 147	(2) 139	(1) 162	125	155	127	(1) 136	136	133	138	(2) 139	139	(1) 144	144
	[運輸交通業計]		(1) 161	(2) 155	(1) 181	139	(1) 169	143	(1) 151	152	145	157	(2) 151	153	(1) 158	158
貨物取扱業		3	1	8	4	9	6	2	2	10	10	10	10	13	13	
農業		(1) 9	8	10	9	7	(1) 8	(1) 15	15	8	8	10	15	9	9	
林業		(2) 14	10	4	11	15	(1) 5	3	3	8	8	5	5	5	5	
水産・畜産業		96	(1) 103	(1) 92	(1) 109	95	91	98	98	97	100	119	119	122	122	
その他の事業		(3) 515	(2) 511	(6) 524	(1) 539	(5) 542	(2) 577	(6) 625	678	(1) 635	697	(4) 627	2261	(2) 684	894	
(内 社会福祉施設)		96	75	90	75	87	100	144	163	131	146	120	900	128	234	
(内 清掃・と畜業)		(1) 56	57	(2) 51	53	59	60	50	50	55	55	(1) 61	65	(2) 63	64	
(内 商業)		(2) 147	(1) 176	(3) 187	(1) 199	(2) 195	(2) 200	(1) 204	204	(1) 195	202	(2) 191	205	253	253	
(内 接客娯楽業)		116	(1) 90	(1) 99	100	(1) 82	91	(1) 101	103	82	89	105	110	112	113	
*** 合計 ***		(10) 1,404	(8) 1,359	(16) 1,354	(9) 1,342	(11) 1,403	(10) 1,376	(19) 1,407	1,464	(7) 1,439	1,665	(11) 1,503	3,175	(10) 1,518	1,743	

()内は死者数を内数で表示

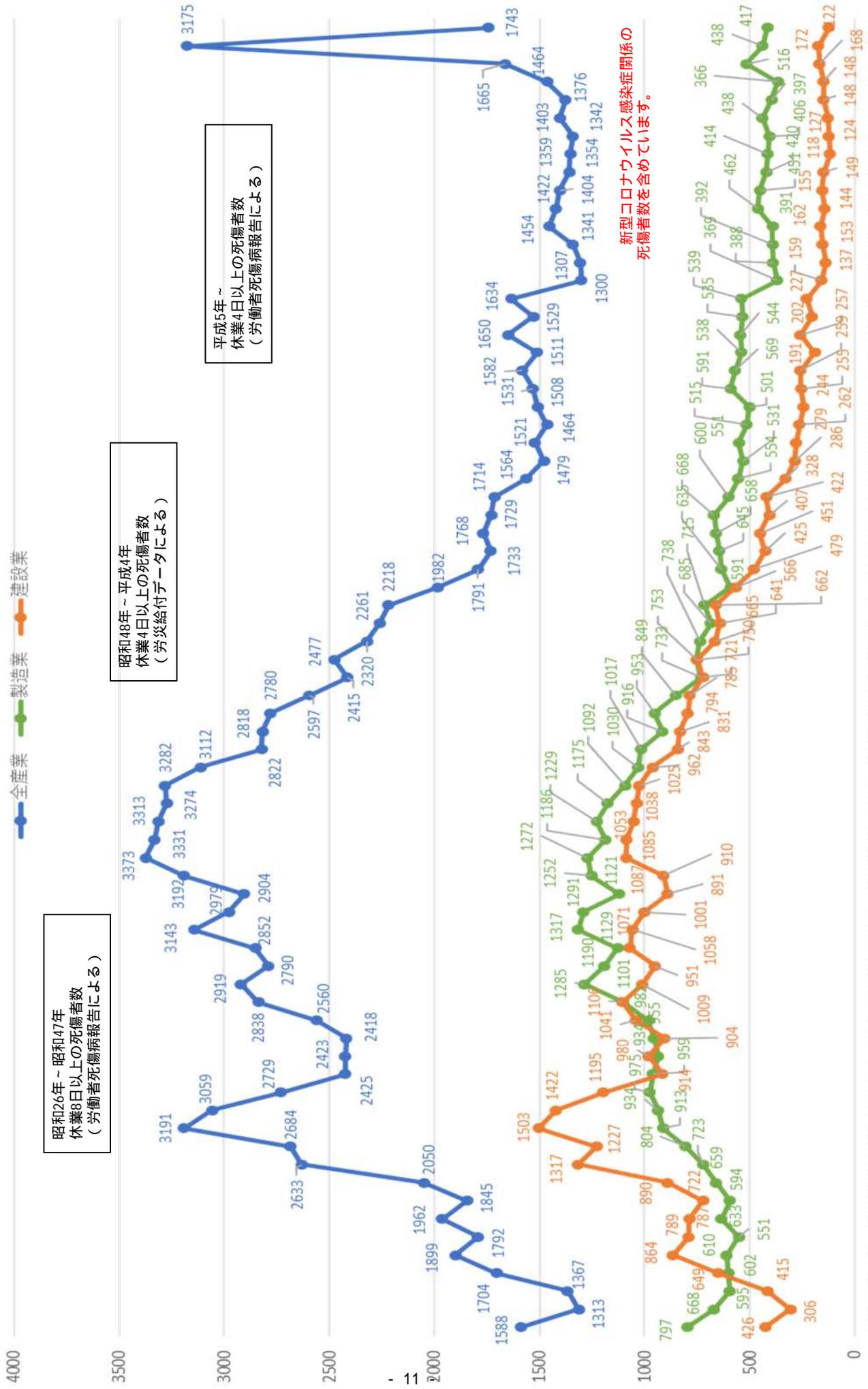
新型コロナウイルス感染症関係を含めた死傷者数を赤字で表示

● 死亡災害の推移



2627282930313233343536373839404142434445464748495051525354555657585960616263 1 2 3 4 5 6 7 8 9 101112131415161718192021222324252627282930 1 2 3 4 5

● 労働災害発生状況の推移



2627282930313233343536373839404142434445464748495051525354555657585960616263 1 2 3 4 5 6 7 8 9 101112131415161718192021222324252627282930 1 2 3 4 5